

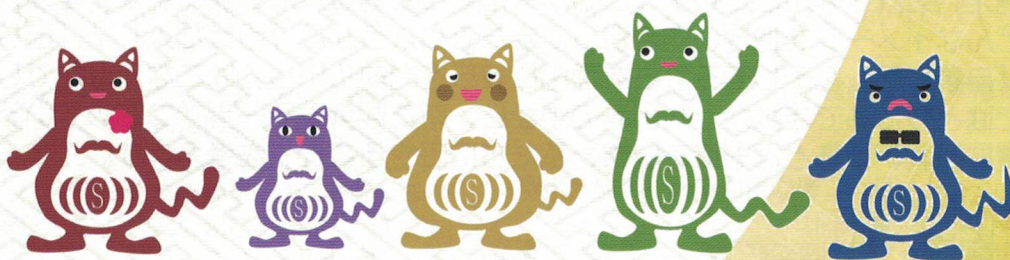
一般社団法人

日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

第34回全国研究大会in金沢

生きづらさを聴こう

アルコールだ、薬物だと
四の五の言わずにソーシャルワーク！



2019年

11月16日（土）・17日（日）

16日【記念シンポジウム】石川県教育会館

17日【分科会】石川県地場産業振興センター本館

【全体会】 // 新館

【後援】

日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士協会、日本医療社会福祉協会、日本ソーシャルワーカー協会
石川県、石川県社会福祉士会、石川県精神保健福祉士会、石川県医療ソーシャルワーカー協会
富山県社会福祉士会、富山県精神保健福祉士協会、富山県医療ソーシャルワーカー協会
福井県社会福祉士会、福井県精神保健福祉士協会、福井県医療ソーシャルワーカー協会
金沢弁護士会、朝日新聞金沢総局、北陸中日新聞、北國新聞社、読売新聞北陸支社（以上、申請予定）



開催のご挨拶

第34回日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会全国研究大会
大会長 橋本直子（福井県立大学）

この度、第34回ASW全国研究大会を初めて北陸・金沢で開催する運びとなりました。近年、アルコールのみならず、薬物、ギャンブル、ネット、ゲームなど様々なアディクション関連問題はあらゆる現場で看過できない問題となり、支援にかかわるソーシャルワーカーの力量が求められています。さらに、アルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法の制定、依存症対策総合支援事業が定められ、地域でどのような支援体制を構築していくのかも問われています。ASWはこれまで主にアルコール関連問題を中心に実践に取り組んできましたが、こうした社会的状況の中、今大会は「生きづらさを聴こう アルコールだ、薬物だと四の五の言わずにソーシャルワーク！」をテーマに掲げました。このテーマにはアディクションの種類が何であろうと、また制度や機関の限界があるろうと、ソーシャルワーカーとして目の前にいる困難を抱える一人一人の生きづらさに向き合うという原点に立ち返り、できることに取り組んでいこうという想いが込められています。2日間のプログラムでは、多くの回復者の方々にもご登壇いただき、当事者とともにある支援のあり方を考えていきたいと思ひます。「令和」元年の本大会が、ASWの皆さまはもとより、まだまだ支援の体制が整っていない北陸における新たなつながりと支援の一步となることを願ひ、皆さまを心よりお迎えしたいと思ひます。カニも美味しい紅葉の季節の金沢に、皆様どうぞご参集ください。



【記念シンポジウム】 11月16日（土） 13時～16時30分

アルコールをはじめとする様々な依存性薬物、ギャンブル、過度の買い物や過食嘔吐等による様々な困難を抱え、それをなんとかしようともがき苦しんでいる人たちがいます。その人たちに対し、私たちはどんなイメージを抱き、向き合ってきたでしょうか。「困った人」？「懲りない人」？あるいは「自業自得」？そしてそれらを理由に彼らを門前払いしてはこなかったでしょうか？自分一人ではどうにもできなかった困難の中から、新たな歩みを一歩ずつ進めている人たちの軌跡、そして希望に触れ、彼らとともに「いま、私たちにできること」を考えます。

- 12:30 受付
- 13:00 オープニング 富山ダルク岩瀬太鼓「海岸組」
- 13:30 講演『僕たちの歩み』田代まさし（日本ダルク）、林敦也（富山ダルク）
- 14:30 講演『生きづらさを生きる人たちと歩む』
成瀬暢也（埼玉県立精神医療センター 副病院長）
- 15:30 シンポジウム『いま、私たちにできること』
座長 橋本直子（福井県立大学・大会長）
シンポジスト 田代まさし、林敦也、成瀬暢也、岡崎直人（ASW協会会長）
- 16:30 終了

【懇親会】 11月16日（土） 18時～JIM HALL spazio（金沢市片町1丁目5-15セキビル7F）
会費：5500円（定員あり。大会申込みとあわせてお申込み・お振込ください）



【分科会①基礎講座】 11月17日（日） 9時30分～12時 『一緒にやろう！アディクションへのソーシャルワーク』

アディクション問題へのアプローチについて、基本的な知識と援助スキルを習得するとともにアディクション問題へのソーシャルワークをミクロ視点（クライアントとのかかわり）とメゾ視点（地域開発やネットワークづくり）の視点から読み解きます。回復の道を歩んでいる方たちとも出会い、希望の光を見出しましょう。

- ◆コーディネーター 内藤千昭（西山クリニック）
- ◆アディクションへのソーシャルワークアプローチ
～ミクロ視点から～ 高橋陽介（久里浜医療センター）
- ◆アディクションへのソーシャルワークアプローチ
～メゾ視点から～ 岡村真紀（高嶺病院）
- ◆相互援助（自助）グループメンバーの体験談



【分科会②家族支援】11月17日（日）9時30分～12時 『もう独りぼっちにはしない！悩める家族たちとのつながり方』

アディクション問題へのかかわりではまず、かなりの頻度で家族やパートナーなど本人以外の方が登場します。困り果てた家族を「当事者（ファーストクライアント）」と捉え、その家族システムをソーシャルワークの視点から理解することをはじめ、家族支援において必要な知識と援助スキルを習得します。

- コーディネーター 橋本直子（福井県立大学）
- ◆アディクションと家族システム理論を踏まえてー
山本由紀（遠藤嗜癡問題相談室）
 - ◆家族相談の受け方 山本哲也（小谷クリニック）
 - ◆家族教室の進め方 橋本直子（福井県立大学）
 - ◆アルコール依存症の父をもつ「私」の人との付き合い方
茂木孝太（松原病院）



【分科会③相互援助】11月17日（日）9時30分～12時 『なぜ私たちは仲間たちとともにいるのか』

アディクションからの回復には当事者同士のつながりが欠かせないということはよく知られています。回復のプロセスにおける仲間とのつながりの意義、さらにはアディクションが止まったその先も仲間たちとのつながりを大切に持ち続ける理由、そこにある回復のありようと、援助者に求められる姿勢について当事者から学びます。

- コーディネーター
根津敦（愛和報恩会） 高平大悟（金沢保護観察所）
- ◆相互援助の意義と僕たちの回復
加藤武士（木津川ダルク）
 - ◆仲間たちとのつながりを持ち続ける意味
相互援助（自助）グループメンバー
 - ◆ディスカッション



【分科会④プロセスアディクション】11月17日（日）9時30分～12時 『多様化する行為・プロセスへのアディクションにどう向き合うか』

何かの行為にはまること、生き延びるために必要だったその行為が、一方で多くの生活課題を生み出してしまふという現実もあります。私たちは行為やプロセスに対するアディクションとどう向き合うか？そのアディクションの必要性を理解しつつ、現実起こる課題への対応、さらには回復のイメージを共有していきましょう。

- コーディネーター 板倉康広（日本福祉教育専門学校）
- ◆プロセスアディクションとその回復～インターネット・ゲーム依存を題材に～ 前園真毅（久里浜医療センター）
 - ◆摂食障害からの回復の場づくり
山口いづみ（あかりプロジェクト）
 - ◆ギャンブル・買い物依存における援助職の役割
田中紀子（ギャンブル依存症問題を考える会）
 - ◆ディスカッション



【全体会】11月17日（日）13時～16時15分 『生きづらさを聴こう アルコールだ、薬物だと四の五の言わずにソーシャルワーク！』

繰り返し体調を崩したり、何度も同じ失敗を重ねたり、何もかもがうまくいかなかったり…。ソーシャルワーカーはもとより、対人援助の仕事に携わる人の多くが、実はアディクションを背景とする様々な生きづらさに悩む人たちに日頃から身近に接しています。「その人の生活のしづらさ＝生きづらさ」に寄り添うことに特殊な技能や技法は必要ありません。様々な現場からの報告を聞き、「当たり前のかかわりを丁寧に実践すること」の意義、そして「生きづらさの向こう側」に見えてくる風景と一緒に想いを巡らせてみませんか。

コーディネーター：田中和彦（日本福祉大学）

- ◆急性期病院でのアディクションへの気づきとソーシャルワーク 加藤久人（名古屋第二赤十字病院）
- ◆様々な生活課題の背景にあったアディクションへの気づき 堀尾志津香（相談支援事業所りんく）
- ◆アディクションにかかわる中で見えてきた、その背景にある生きづらさ 檜垣知里（トラヴァイユそれいゆ）
- ◆アディクションという視点の種まきと水やりの取り組み 西念奈津江（岡部診療所）
- ◆生きづらさを生きたその先に見えてきたもの 市川岳仁（三重ダルク）
- ◆ディスカッション『生きづらさの向こう側』

参加お申込み

①下記申し込みフォームよりお申し込みください。 QRコードはこちら→
<https://ws.formzu.net/dist/S67470934/>

②申し込み後、1週間以内に下記口座に参加費と
懇親会費（参加される方のみ）を併せてお振込みください。
入金確認後、申し込み完了のメールをお送りします。



※10月1日以降のお振込みは一般申込の金額となります。ご了承ください。

参加費（2日間参加）

早期申込 【会員】 6000円 【非会員】 7000円 ※9月30日までのお振込み
一般申込 【会員】 7000円 【非会員】 8000円
懇親会 【会員・非会員とも】 5500円（要事前申込）

お振込先（恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください）

<ゆうちょ銀行から>

【記号】 14120 【番号】 14190041

【名義】 一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

<ゆうちょ銀行以外から>

【銀行名】 ゆうちょ銀行 【店名】 四一八（ヨンイチハチ） 【店番】 418

【種別】 普通 【番号】 1419004

【名義】 一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

アクセス

※交通、宿泊の斡旋、予約は事務局では取り扱いません。各自でお申し込みください。

※大会開催時期の金沢は紅葉とカニの時期で、大変混雑が予想されます。交通機関、宿泊先はお早目の予約をお勧めします。

※1日目と2日目の会場が異なります。宿泊は金沢駅周辺が便利です。

金沢へ

- 【JR】 関東方面から北陸新幹線利用、金沢まで東京から約2時間半、大宮から約2時間
関西方面から特急サンダーバード利用、金沢まで大阪から約2時間半、京都から約2時間
名古屋方面から東海道新幹線、米原乗換で特急しらさぎ利用、金沢まで約2時間半
【空路】 羽田、札幌、仙台、福岡、那覇から小松空港へ、小松空港から金沢市内までバスで約40分

会場へ

<16日>石川県教育会館（金沢市香林坊1丁目2-40）

【バス】 金沢駅兼六園口から北陸鉄道バス約15分、「香林坊」下車 徒歩3分（香林坊に停車するバス多数あり）

<17日>石川県地場産業振興センター（金沢市鞍月2丁目1番地）

【バス】 金沢駅金沢港口6番乗り場から北陸鉄道バス約20分

「消費生活支援センター」行き乗車「工業試験場」下車すぐ

「戸水」「中央病院」行き乗車「県庁前」バス停から徒歩約12分（他にも県庁前に停車するバスあり）

最新情報

大会ホームページをご覧ください。
アクセス等詳細も掲載してあります。
Facebookページもあります。

<https://asw2019kanazawa.wixsite.com/welcome>

<https://www.facebook.com/asw2019kanazawa/>



大会運営事務局 asw2019kanazawa@gmail.com

（お問い合わせはメールでお願いいたします）

名古屋事務局：西山クリニック 名古屋市名東区上社1-704 TEL052-771-1600 担当：雲川、奥村、永縄
金沢事務局：岡部診療所 金沢市増泉1-19-17 TEL076-243-1818 担当：西念

